



第37号の目次

- 1. JAXA きずな(WINDS) 災害時運用実証実験(2008年度)報告
...沢田 健介
- 2. 「ハケ岳おにがわら10周年」記念ツーリング報告
...山田 泰
- 3. 「ハケ岳おにがわら」からの便り
...中島 信義
- 4. アフリカ ガーナ便り
...池田 喜由

JAXA きずな(WINDS) 災害時運用実証実験(2008年度) 報告

2008. 2月~2009. 3月 沢田 健介

きずな(WINDS)について

超高速インターネット衛星きずな(WINDS)は、独立行政法人宇宙航空研究開発機構(以下JAXA)が2008年2月23日に種子島宇宙センターから打ち上げた実験用衛星で、最大で1.2Gbpsと、通信衛星としては世界最高水準の通信速度を提供することが可能である。この衛星は、インターネット、教育、医療、災害対策、ITS(高度道路交通システム)な



などの各分野における衛星利用を推進する宇宙インフラ構想「i-Space」の中で、大容量データ通信分野の技術実証を担う予定である(JAXA 広報資料より)。

【きずな(WINDS) (資料提供 JAXA)】

実証実験プロジェクト発足の経緯

大災害の発生直後、通信インフラが途絶した被災地からのリアルタイムで正確な情報は非常に貴重で伝えることが難しいものの一つであり、神奈川 RB も平時から無線通信とインターネットを中心とした情報通信技術の訓練を実施している。JAXA は、大災害発生時の情報支援インフラとして、きずな(WINDS)の有用性を実証するための実験を計画し、縁あって被災地で実際に情報通信技術とバイクの機動力を発揮することが出来る災害支援ボランティア団体である神奈川 RB にも実験参加の誘いがかかった次第である。2008年3月1日、初回の会合が茨城県の筑波宇宙センターで開催された。

実証実験プロジェクトの体制

アマチュア無線の APRS や VoIP 技術を使用した震災支援技術の研究に精力的な茨城 RB も実験に参加することになり、ボランティア団体のとりまとめ役は災害救援活動インターネットによる情報発信支援として実績がある NPO 愛知ネットとなる。

神奈川 RB からは衛星地球局の技術操作するための無線従事者免許を持つ山田さん、池田さん、沢田の3名が中心となり実験に参加することになった。中でも池田さんが以前勤務していた通信機メーカーの開発部署は、きずな(WINDS)の衛星地球局装置を開発した部署であり、不思議な縁である。

実証実験プロジェクトの課題と解決方法

大災害の発災後、きずな(WINDS)を使用して被災地から情報発信するためには被災地に衛星地球局装置(VSAT)一式を持ち込み展開し運用する必要がある。そのためには、設備一式を運搬するための手段(機動力)と展開・運用の人手(技術力)が必要になる。衛星地球局装置はその名のとおり衛星と直接通信する地球側の無線設備であり、今回の実証実験の性質を鑑み航空機で運搬可能な IATA レギュレーションを超えないサイズのケースに分割して収納されている。

当初、この分割された地球局(可搬型 VSAT)を機動力に優れたバイクに取り付けたトレーラで運搬する案が存在したが、震災等で荒れた路面でバイクトレーラは現実的ではないということになり、運搬手段はバイクに限らず可能な手段を使用するというで落ち着いた。展開・運用の人手については RB 隊員が JAXA によるトレーニングを受けることで対応可能であるという結論となり、RB 隊員のトレーニングが開始された。



【衛星地球局(可搬型 VSAT)】 【可搬型 VSAT を収納するケース群】

衛星地球局の展開・運用トレーニング

2009年10月18日、JAXA 筑波宇宙センターで実物の可搬型 VSAT を見せてもらう。可搬型 VSAT は、いかにも実験装置という造りで、防水性・防塵性が担保されていないことから実運用に向く構造ではないが、実験用としては十分な装置であった。しかしいずれの装置も組立



【可搬型 VSAT とご対面】

手順が複雑であることを容易に想像させてくれる外観を持っていた。中でも電波の通り道である導波管はとても高い精度が要求される部品であるため使用されている部品がとても細かく作業性が悪そうである

2009年11月13~14日、JAXA が徳島県の四国地方非常通信訓練にきずな(WINDS)を使用したデモ(地球観測衛星だいちからのリアルタイム動画受信、ハイビジョン TV 会議システム)を実施した。NPO 愛知ネット、茨城 RB、神奈川 RB の実験メンバはオブザーバ参加し、可搬型 VSAT の組立手順や操作方法などを見学させてもらう。

【JAXA による地球観測画像ライブとハイビジョン TV 会議デモの様子(徳島)】



2009年2月22日、いよいよボランティア団体による可搬型 VSAT の展開・運用訓練が筑波宇宙センターで実施された。宇宙技術開発株式会社(SED)のエンジニアによるレクチャーを受け、なんとか全ての設備を組み立て、稼働させることができるようになった。



【アプリケーション運用訓練】

【可搬型 VSAT の展開訓練】

災害発生時の衛星利用実証実験

2009年3月8日、筑波宇宙センターで実際に大震災が発生したとい



う想定のもとで、ボランティア団体による衛星運用訓練が実施された。訓練は愛知ネットが作成した実践的なシナリオに従って行われ、発災後に2基の可搬型 VSAT を実際に運搬・組み立てて通信回線を確立



し、Skype やインターネット掲示板を利用した情報支援活動の全てをボランティア団体の手によって行うという内容である。訓練は成功し、2008年度の実証実験プロジェクトが成功裏に完遂されたことが宣言された。

【実証実験本番の様子】

おわりに

本プロジェクトは2009年度もJAXA 主導のもとで継続して実施されることが決定し、茨城 RB・神奈川 RB も NPO 愛知ネットのもとでこれに協力することになった。今後は国や県などの自治体が実施する総合防災訓練などで、きずな(WINDS)の大災害発生時の運用訓練の様子をアピールしていく予定である。

一災害支援ボランティア団体に過ぎない神奈川 RB が衛星通信を使用した宇宙利用実験に携わっていただいたことはありがたく刺激的であり貴重な体験であった。この場をお借りして今般のような機会を作って下さった JAXA 富井様、レスキューナウ朝倉様をはじめ、愛知ネット天野様、茨城 RB 田辺様、他関係各位に謝意を表明します。

「ハケ岳おにがわら10周年」記念ツーリング報告

2009. 5/16~17 山田 泰

書き始めてすぐ原稿を受けたのは軽率だったと後悔した。中島さんが「おにがわら」計画を準備されていた時期が神奈川RB設立前後と重複した時期でもあり、当時のいろいろを思い出してなかなか筆が進まない……………。

2009年5月16-17日に久しぶりに「おにがわら」を訪問した。言いだしっぺは元神奈川IRBメンバーの谷内夫妻である。「おにがわら」が当初予定の10年を迎えるにあたり、心からのお祝いとともに「もっと続けて、まだやめないで」メッセージをお伝えしたかったようである。「おにがわら」と経営者である中島さんご夫妻は神奈川IRBメンバーにとっては心のふるさとのようなものだ。設立総会時には奥様も会場に連れられ、いけていただいた花で殺風景な雰囲気華やかに変わったことが思い出される。その1年後(でしょうか)、中島さんはハケ岳に移住。「おにがわら」開店。身をもって積極人生を我々に示してくれました。神奈川からハケ岳に離れたといっても神奈川IRBメンバーには気軽に寄れるオアシスであることには変わりはない……………

ハケ岳「おにがわら」周辺はあいにく2日間とも雨で霧が立ち込めていたが、そのおかげでコテージ周辺の唐松林の木々の緑に心身共に癒された。大泉駅近くにはまだ八重桜がきれいに咲いており一月遅れの山の季節を実感した……………

谷内夫妻が準備した記念品は「メッセージボード」。



2009. 05. 16

お店に来てくれたお客様との交流を考えた「グッドアイテム」。早速書き込んだ内容はみな似たりよったり。(読者の皆さんも是非見に来てくださいね。)

お祝いといっても、中島さんご夫妻、娘さんにはいろいろおいしいメニューをご馳走になったわけで、おいしいと注文するたびに中島さんはお忙しくなってしまう。我々が主に楽しんでしまった感があり、今思い起こすと少々情けない気がしないでもない。久しぶりに普段お会いできないメンバーにお会いでき、うれしい時間であった。



2009. 05. 16

2009. 05. 16

参加者は入佐(大阪)、伊藤(茨城)、谷内、村崎、沢田、大谷、矢代、山田の8名。

参加されない方からもいろいろお気遣い頂き、参加者の一人として感謝いたします。最後になりますが、中島さん、ありがとうございました。

「ハケ岳おにがわら」中島さんからの便り

2009. 6月 中島 信義

「おにがわら」の遠況と近況
神奈川IRB. の皆さん、そして活動を支援して下さる皆さん！！
ハケ岳支局の中島です。
横浜からハケ岳山麓に移住し、2000年7月8日にお好み焼き「おにがわら」を開業して10年になります。皆様のご支援の下に本業の

お店と地域での救護ボランティア活動はこの9年同じスタンスで継続してきました。私の遠況(早い話がチョット前の話題)と近況をお知らせしましょう。

その(1) AED搭載の市営バス発見！！

今年2月に渥美半島の伊良湖岬に家内と旅行の途中、JR豊橋駅で路線バスに乗り換えた時、バスターミナルの向かい側で写真のバスを発見！！



目が丸くなりました。何と市営バスの側面に「AED搭載」の表示が。

全国では医療関係者が個人的にAEDを

マイカーに搭載してボランティア活動をしている情報を耳にしたことはありますが、公共交通バスは初めて目にしました。早速シャッターを切りました。会報ご覧の方でどこか他の地域で見たことがありますよ！！との情報があつたらご一報ください。

こちらのバスが動き出した為にその車輦内部を見学する事が出来ませんでした。

私は地域でのボランティア活動の際、写真の通り、お好み焼き店に居る時は店内に、外出時はバイク(CT110:8段ミッション)や自動車(フィット:4WD)に搭載して緊急時の備えをしています。



その(2) 沖縄県2消防本部を表敬訪問(今回写真はありません)

① 冬期休業中の2月には沖縄県那覇市消防本部と本島北部の国頭地区消防本部を表敬訪問してきました。

那覇消防本部は昨年、会報で報告しました西署の次席で初めての表敬訪問にも拘らず署の施設を案内していただいた上、江洲司令長が2008年4月から中央消防署・指令情報課長に栄転されていました。

再度の訪問で人口31万人の市民と消防本部を結ぶ中枢にある指令室の様々な通信、映像システムのご案内をしていただきました。その後4月からは西消防署の署長に昇格されたとの連絡を戴き、来年の訪沖を楽しみにしておられるとの話をいただきました。

那覇市内には来年から(?)巨人軍の冬期キャンプ地として大規模なドーム球場を建設中でした。私と家内は阪神ファンですが楽しみです。

② 県北部の国頭地区消防本部を表敬訪問。

沖縄本島の30%を占める署の活動概況は消防専門誌「J-レスキュー」で昨年頃から関心を持って見ていました。

特に北部の名護市に拠点を持つ民間ドクターヘリ「MESH」との連携による今問題の地方医療過疎の典型的な環境に住民はもとより医療機関、消防救急機関が多くの問題点を抱えながら2007年から昨年7月まで運航していました。にも関わらず、ヘリ運航資金難でその後、

本年6月まで一年間の運航休止。その間に関係医師、看護師が中心になって県民や企業のサポート活動で資金6ヶ月分が集まり6月15日より運行再開が決定(私もパートナー会員です)。

再び北部と離島地域にDr.ヘリが羽ばたきました。この状況を消防本部・救急係長の大城氏から説明されて救急活動の困難さを実感しました。地域の90%は山原(ヤンバル)原生林に覆われて県内外からの観光客も多く、地域11000人の住民も高齢化しますます救急医療を必要とするケースが増えてきています。皆さんの支援をお願いします。

あたかも私の生活するハヶ岳南麓の生活環境と大変似ています。これを機に今後は救急医療とドクターヘリ、この活動を支援する消防救急と消防防災ヘリの連携した効果的な運航について関係機関の話を伺いながらハヶ岳にDr.ヘリが羽ばたく夢を追いかけます。

更にはこの様な「ヘリ活動とバイクによる救護ボランティアの接点」もこれからの私の研究課題と考えます。いずれは神奈川RB. 澤田さんを中心に研修を重ねているJAXAとの連携活動にも結び付くのではないのでしょうか。

その(3) 山梨県消防防災ヘリ「あかふじ」と共に！！

この写真は県北西部(甲斐市)にある「あかふじ」の基地でパイロットであり、また気象予報士でもある高松機長と機の前で。

山梨に移住した2000年、近くの渓谷での滑落事故や国道線で発生した重篤な外傷患者を搬送する為に現場で救護の手伝い中、ヘリ隊員と顔を合わせたのがお付き合いのきっかけでした。

以来9年(隊長は4代)にわたり「防災ヘリと消防・救助・救急」について懇談する機会を持たせて戴く事になりました。詳細は今後の会報でお知らせいたします。



山の今は新緑のグラデーションに心が癒されます。店の窓から見上げる空は木々に覆われ5月連休前はこげ茶色の枯れ木一色、見上げれば90%紺碧に輝く青空が今や30%ほどに狭くなりました。

自然は力強くその環境の中で人間は育まれていることを実感する時、あえて省エネとかエコなど謳わなくてもその大切さを大事にしなければとの感慨を日々新たに作る毎日です。

アフリカ ガーナ便り

2009. 6月 池田 喜由

日本は既に梅雨入りしたのでしょうか。昨年の8月以来、活動拠点はナイロビに置きながら、殆どをガーナで過ごすことになった。アフリカ西海岸ガーナ、首都アクラからお便りいたします。



皆さんはガーナと聞いて何を思いお

こすでしょうか。ガーナチョコレートでしょうか。野口英世でしょうか、それとも前国連総長のコヒ・アナン氏でしょうか。あるいは奴隷貿易でしょうか。

この辺りアフリカ西海岸諸国は、奴隷貿易と言う暗い歴史を持っています。ガーナもそんな国の一つです。又、法外な安値で金を積み出した黄金海岸の異名を取るのもこの国です。50年前英国から独立し、現在は比較的安定した国政を保つアフリカの優等生とも言われています。最近、西部海岸沖で油田が発見され経済に活気を見せています。アフリカ諸国は総じて植民地体制から自治体制へのスムーズな移行に大変苦労しています。最大の難事は汚職の追放と富の公平な分配です。

日本はまれに見る均一社会(最近そうでもなくなっていますが)ですが、ここでは貧富の差は著しいものがあります。それでも人々は希望を失わず、明るく振舞っているのには、何か私達のほうが変なのではないだろうか疑問を持つこともある程です。

さて、今日は首都アクラの街の風景を紹介しましょう。

ここでは路上販売の規制がさほど厳しくありません。貧困層の人々の生活の糧を得る手段として路上販売は欠かせないのです。

頭上に籠を器用に載せ、交差点で信号待ちの僅かな時間に商売をする女性、僅かな品物を路上



に並べたものから、粗末なスタンドを備えたもの、半恒久的な小屋風の店構えを持ったもの迄、その規模は様々だ



。水、駄菓子、揚げパン、ヨーグルト、焼きバナナ、魚フライ、バナナチップ、煮ピーナツ、椰子の実、煮タロ芋、スイカ、パイパイ、パイナップル、マンゴ等、扱っ種類は実に様々だ。特にローカル色豊かなのは焼きバナナと椰子の実売りだろうか。いずれも5ペソ(3円)から50ペソ(35円)程度。それ以上になると普通の人々は簡単に買うことができない。

私も時に利用する。バナナはスーパーでは売っていない。路上販売で買うのだ。8本で1セデー(約70円)。4本(50ペソ=35円)買おうとすると、店主のおばさんに有無を言わず8本(1セデー)買わされてしまう。実にしっかりしている。『今日も私の昼食はバナナだ...』

編集後記

本年度より会報発行担当を勤めさせていただきます大島(おおばたけ@茅ヶ崎、54才)と申します。よろしくお願いいたします。

長い間、会報発行にご協力いただいた太田さん、手塚さん、改めてご苦労様でした。会報36号までを全て見させていただきましたが、創立以来10年、私の存じ上げない方々や今も継続されている皆様の方力で神奈川RBが綿々と続いてきたことに、すでにひとつの歴史を感じます。

防災やボランティアに関しては全くの素人のただの会社人間ですが、普通の人間が自分の時間を少し使って、少しは誰かの役に立とう、というのがボランティアの基本だとしたら、趣味のオートバイを核にして微力ながらお手伝いをさせていただきたいと思えます。

今回は、お忙しい中、4人の方々に原稿を寄せていただきました。本当にありがとうございました。今後は活動の報告はもちろん、会員の皆さんの何気ない日常や「ちょっと自慢」も載せていきたいと思っておりますのでご協力をよろしくお願いいたします。

初回ですので、紙面をお借りして少し自己紹介をさせていただきます。この歳まで仕事と家庭と趣味のエンデュアロでパンパンでしたが、子供もだいぶ落ち着いたし、やれやれと思って2007年に神奈川RBのサイトを見つけて入会させていただきました。

私事のびっくりと言えば、今年になって上の娘がいきなり結婚、自分は9月には「じいじ」になることになりました(じいじではありません)



【丹沢の林道にて、ウリ坊と】

。多少、辻褄が合いませんが、ま、結果オーライ、と自分を納得させる。いいように考えればいいように回る。(人並みにしばらく悩みました、が...立ち直りが早い)

神様からの贈り物、私の次の次の世代までこの平和を残していけますように。こうなったら老けこんでいる場合じゃないな。

【神奈川・レスキューサポート・バイクネットワーク会報】

ーバイクによる災害時救援活動支援ボランティアー

URL: <http://www.kanagawarb.org/>

代表: 矢代 幸雄 事務局長: 山田 泰

発行者: 会報担当 大島 浩介

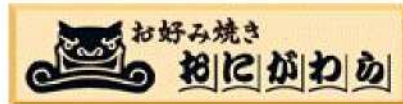
〒221-0835 神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2

かながわ県民活動サポートセンターレターケース No.81

Fax: 045-312-1862(取次ぎ: レターケース No.81 宛て)



神奈川RB会報発行にあたりまして、お好み焼き「おにがわら」様のご支援を頂いております。ハケ岳方面にお出かけ予定の方、これから出かけようという方もぜひ!!



関西風・広島風 お好み焼き おにがわら

山梨県北杜市大泉町西井出8240-5038

店主: 中島 信義 Tel: 0551-38-4030

JR小海線甲斐大泉駅北約1.5km

<http://www.010.upp.so-net.ne.jp/onigawara/index.htm>

営業日・時間 11:30~14:30、17:30~20:00(火・水・木不定休)

※ 念の為、営業を確認の上お出かけください。